



「練馬のみどり」で冒険遊び！！

～緑被率 23 区 1 位のみどりを活かした遊び場作りへ向けて～

と き 8月20日(火)～23日(金) 午前10時～午後5時 ※小雨決行

と ころ 羽沢二丁目緑地予定地 (練馬区羽沢2-32)

20日、区内の住宅街の一角にある羽沢二丁目緑地予定地(3000㎡)を、自然の中の遊び場として開放する「羽沢こどもの森体験イベント」が開催され、近隣の児童や保育園児ら約100人が「練馬のみどり」を楽しんだ。

森の木々に大人の背丈ほどの高さにロープを張り、歩いて渡る「ロープワーク」や、ハンモックなどの自然の木を活かした遊具、高さ1.8メートルほどの木製の箱を組み合わせた「冒険ボックス」などが設置され、こどもたちは「普段遊べないものがあるって楽しい！」と笑顔を見せていた。

区は、自然を活かした冒険遊びを通じて、みどりに触れ親しみながら、その豊かさや価値をこどもたちに実感してもらうことを目的とした「(仮称)こどもの森」について、平成27年度の開園を目指して取り組んでいる。平成23年度から体験イベントを実施しており、今回で4回目。みどりの環境資源を活かした創作的な遊び場作りは、23区でも珍しい試み。

この体験イベントは23日(金)まで行われる。入場無料。当日参加可。駐車場なし。



【冒険ボックス】



【ロープワークを楽しむこども】

【当日の様子】

晴天に恵まれた当日、親子連れや近隣の保育園児など約100人(正午時点)が訪れ、会場では自然のアトラクションを楽しむこどもたちの歓声が響き渡っていた。

会場には、こどもたちが自由に遊びを創作できるエリアや樹林地を活用したロープワークエリアといった、自然と一体となった遊び場が用意され、こどもたちは夢中になって冒険遊びを楽しんでいた。

保護者の女性は「普段、こんな自然の中で遊ぶこともないので、とても新鮮な体験だったと思います。自然の木の枝を使った工作やハンモックも初めてだったようで、とても喜んでいました。こういった場所が近くに増えてくれると親として嬉しいです。」と話してくれた。



同イベントには、開催地付近にある区立開進第四小学校と同校PTA、地元町会などからも協力を得て、地域一体となって実施している。

【23区で緑被率1位の練馬区ならではの取り組み】

23区で緑被率が最も高い練馬区には、風格ある屋敷林や雑木林がまだまだ残っており、昔ながらの風景を今に伝えている。現在は、「憩いの森」や「街かどの森」という名称で区民が憩えるスペースとして開放している。今あるみどりを守り、増やすことは区の重要課題。練馬のみどりを継承し、将来にわたり保全していくために、練馬区ではこどもたちがみどりの中で冒険遊びができる常設施設として「(仮称)こどもの森」を設置する予定である。

【問い合わせ】環境まちづくり事業本部環境部みどり推進課みどり計画係 電話 03-5984-1659